

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	14
事業名	住宅維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	8	5	1
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施 策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町営住宅、入居者及び入居希望者	目的（対象がどのような状態になっているか）	所管する町営住宅を適正に管理し、入居者及び住民に良好な住宅を供給する。
事業内容		良質な町営住宅の管理を行い、入居手続き等の事務が速やかに行えるようにする。使用料の完全徴収に努め、公平性を担保する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				5,845		5,552		5,743	
財源 内訳	直接事業費A			3,073		3,176		3,817	
	うち一般財源			0		0		0	
人件費（千円）B				2,772		2,376		1,926	
内訳	一般職員（人・千円）			0.42	2772	0.36	2376	0.27	1782
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0.08	144

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	大木団地は建築から30年以上経過しており老朽化が進んでおります。策定済の長寿命化計画に基づき計画的な維持管理を行う。	③取組の課題	住宅困窮者のためのサービス提供として成り立ち、良好な住宅供給がなされている。
②R5年度に実施した取り組み	予算の範囲内で修繕工事に努め、良質な町営住宅の供給を行う。入居手続き等事務を速やかに行い、入居者及び住民の要求に対応する。使用料の完全徴収に努めた。	④今後の改善計画	町営住宅は住宅困窮者にとって必要な施設であることから、継続して維持管理していく必要がある。